

## ◆技術改良試験（重点普及課題）

### ハタ類の養殖技術向上ならびにブランド化

（八重山におけるヤイトハタ養殖指導）

八重山農林水産振興センター 中村勇次

#### 1. 目的

八重山地区では、平成10年より八島魚類養殖場が供用開始され、ヤイトハタを中心とした養殖が順調に行なわれていたが、平成18年に来襲した大型台風13号により施設に壊滅的な打撃を受けた。その後、平成20年度に浮桟橋の補修、養殖場港口の延長、岸壁の嵩上げを行ないより対波性に優れた養殖施設として改修が完了している。

#### 2. 方法

水産海洋研究センター石垣支所、水産海洋研究センター、石垣市水産課、八重山漁協、八重山漁協魚類養殖生産部会と連携して種苗配布、魚病検査及び対策、各種試験等の調整を行った。

#### 3. 結果及び考察

本庁での魚類種苗配布検討会の結果を受けて、八重山地区におけるヤイトハタ種苗配布の調整を行った。6月10日に種苗配布の調整会議とイリドウイルスワクチン接種勉強会を開催した。勉強会参加者は、20名であった。今回はワクチン接種試験を行うため試験に協力する漁業者を5名選定した。種苗配布は6月11日から7月2日にかけて12名に計69000尾を配布した。そのうち15000尾に対して、7月2日にワクチン接種を行い比較試験を開始した。

今期配布した種苗のうち、2経営体でVNNが原因とみられる大量斃死が起こったことから、7月14日に配布種苗の入れ替えを行った。

8月3日に水研センター石垣支所との養殖場巡回において、配布種苗全体でハダムシ・エラ

ムシの大量寄生が確認されたことから、石垣支所の投薬指導を受けてハダクリーンを11名に配布した。

10月末に水研センター石垣支所から大型種苗4000尾の再配布が可能とのことで2名の希望者に配布の調整を行なった。

12月中旬頃、1経営体で2歳魚の斃死が続いているとのことで水研センターへ検体を送付して診断を依頼したところ、エラムシの大量寄生が確認された。そのため、12月末と1月初旬にマリンサワー浴を行なったが斃死が治まらなかった。再度水研センターに検体を3尾送付したところ、3尾からエドワジラ症、1尾からビブリオが検出された。当該2才魚は、1kg程で出荷していたことから、出荷区と薬剤投与区に仕分けしてから薬剤投与区にはOTCを投薬した。投薬後しばらくは数尾／日の斃死が続いていたが、その後斃死は治まった。

年末から原因不明の網が破られる被害が西側の生け簀で多発した。養殖場内に不審な船舶が目撃された例もあり、人為的なものなのか、生物的（ウツボ、サメ）なものなのか依然として不明であった。そこで、1月29日に魚類養殖部会員で養殖場内を潜水調査したところ、網から逃げたヤイトハタ143尾が漁獲されたが、ウツボ・サメ等は見あたらなかった。その後、養殖場で巨大なオニカマスが目撃されたことや、歯形が残ったヤイトハタが見つかったことから、オニカマスによる食害の可能性が高い。

#### 4. 今後の課題

養殖漁業者によって技術にバラつきがある。兼業している漁業によって、毎日給餌に訪れる

漁業者がいる一方、数日に1回しか給餌しない漁業者もいる。種苗配布後の成長が給餌頻度によりだいぶ違っている。

今期の配布種苗は昨年ほどの大量斃死がなかった。原因として昨年より1cm程大型の種苗を配布したためと考えられる。最後に配布したワクチン接種種苗は大型個体であることからほとんど斃死が起こっていない。

昨年も若干2才魚の斃死が起こったが、今年は1経営体のみで2才魚の継続的な斃死があった。淡水浴や網替え頻度などからみても、どうして1経営体のみで被害が発生したのか不明である。

以前、網が破れて出荷用ヤイトハタが逃げたときにマスコミを呼んだことがあり、地元新聞一面に取り上げて貰った。それからしばらく経って再度被害が発生している。今度は石垣海上保安本部に被害届を提出したとのことであるが、漁港の管理体制を再度見直す必要がある。夜になると養殖場内は灯りが無いことから管理上問題である。漁港管理者の石垣市には、魚類養殖部会から街灯の設置を要望している。

平成20年度は、VNNによる斃死の対応に追われたが、今年は種苗を大型化したことが原因なのか発症頻度が低下している。引き続き大型種苗の配布を要望していきたい。

また、販売促進については、漁協が出荷調整用の生け簀を設置したことにより、配合餌料への転換や餌止めを確実に実施できるようになった。引き続き漁協と連携して販売促進に取り組んでいく必要がある。



①ヤイトハタ種苗配布の様子



②ヤイトハタ種苗配布の様子



③チャイロマルハタ成長試験のためタグ打ち



④チャイロマルハタに打ち込んだタグ



⑤養殖場内の潜水調査の様子。



⑨出荷用に解体したヤイトハタ。



⑥潜水調査で漁獲されたヤイトハタ。



⑩破損した網目の様子。



⑦マリンサワーによる薬浴の様子。



⑪歯形が残ったヤイトハタ。



⑧ヤイトハタを薬剤へ投入する。



⑫歯形を拡大した様子。